

【管理運営状況公表様式】

令和4年度 青森県総合社会教育センターの管理運営状況

県所管課	教育庁生涯学習課
指定管理者	豊かな学びを育む青い森グループ (代表者である団体) 一般社団法人青森県すこやか生活支援機構 (構成員) 青森コミュニティビジネス株式会社
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
施設の使用許可に関する業務	青森県総合社会教育センター条例及び同規則の規定を遵守し、公正な貸室業務に努めた。 また、利用者サービスの向上のため、開所時間を19時まで延長し、施設の利用促進が図られていた。
施設の維持管理に関する業務	日常的な清掃業務等の実施や、必要な法定検査やその他各種検査の実施、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための消毒作業等、適切な施設の維持管理に努めた。 また、防犯カメラによる監視や、施設内外の巡回等の防犯対策を適切に実施し、安心して利用出来る施設環境の維持に努めた。
施設の業務の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・あおり県民カレッジ運營業務 各地域の連携機関と協力体制を組み、地域のニーズに合った学習機会を提供した。県内全域において、学友会（カレッジ学生の自主運営による団体）活動に対する支援と協働により、学習活動の振興に努めた。 ・インフォメーションプラザありす運營業務 窓口対応時間を19時まで延長して県民サービスの向上を図ったほか、ラーニングスペースとして開放し、快適に学習活動がしやすい空間づくりに努めた。 また、利用者カードを発行し、カードを提示することで、空き研修室を自主学習室として利用できる取組の実施や、エントランスホール等への生花展示、絵画等の作品展示も行った。
自主事業	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を行いながら、自主講演会や大学公開講座等を開催し、県民の学びの機会や施設利用の充実を図った。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年 度	計 画	実 績	計画対比	前年度対比
研修室等利用者数 (人)	H 2 9	60,000	67,096	(前指定期間の実績)	
	H 3 0		85,512		127.4%
	H31/R1		53,584		62.7%
	R 2		23,664		44.2%
	R 3		23,726		100.3%
	R 4		37,165		157.1%
インフォメーション プラザありす来 場者数 (人)	H 2 9	23,989	29,688	(前指定期間の実績)	
	H 3 0		21,596		72.7%
	H31/R1		20,986		97.2%
	R 2		16,702		79.6%
	R 3		11,882		71.1%
	R 4		12,544		105.6%
あおもり県民カレ ッジ学生数 (人)	H 2 9	年間学生数 20,000	22,177	(前指定期間の実績)	
	H 3 0	年間学生数 22,016	23,452	106.5%	105.7%
	H31/R1	年間学生数 24,500	24,233	98.9%	103.3%
	R 2	年間学生数 25,200	25,322	100.5%	104.5%
	R 3	年間学生数 26,353	26,860	101.9%	106.1%
	R 4	年間学生数 28,860	29,122	100.9%	108.4%
<p>【増減理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修室等利用者数 祝日の開所・開所時間及び電話対応時間の延長等を引き続き実施し、施設の利用促進に繋がった。また、施設の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策について、特に研修室の利用人数や利用方法等について利用者に丁寧に説明したところ、利用者の理解が得られ、利用者数が増加した。 ・インフォメーションプラザありす来場者数 来場者への良好な対応、フリーWi-Fiの提供、ラーニングスペースとしての開放、ほのぼののルームの運営や、新型コロナウイルス感染症対策として各テーブルにアクリル板を設置する、丁寧な消毒作業を実施するなど、安心して利用しやすい環境づくりに努めたところ、前年度実績を上回った。 ・あおもり県民カレッジ学生数 センター内における講座や、各連携機関のイベントでの広報活動といった積極的な周知活動や、テレビ・ラジオ・新聞といった各種メディアにおいて広報活動を実施した結果、年間学生数の計画目標数を達成し、前年度実績も上回った。 					

3 評価結果

評価項目	指定管理者 自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策も含めた施設環境の整備や施設使用許可に係る業務を適切に行った。また、在宅学習での単位認定を行うなどコロナ禍での学生の学習意欲の維持に努めるとともに、規模を縮小しながらも生涯学習フェア等のイベントを開催するなど、工夫しながら活動を行った。</p> <p>センターボランティアスタッフへの参加方法等を整理し、新たに「まなびサポーター」を立ち上げ、研修会を開催するなどボランティア活動の活性化に繋がるよう努めた。また、障害者等の利用時に必要な対応等を職員間で情報共有を図るなど、利用者サービスの向上に努めていた。</p>
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	3	3	<p>自主事業についてはコロナ禍においても開催可能な内容を検討し、実施した。</p> <p>また、ラジオ番組（FM青森）の情報コーナーで事業や活動を定期的に紹介する等の積極的な広報活動を行うなど、マスメディア、広報紙、ホームページ、SNS等様々な手法で情報発信し、利用者への適切な情報提供を行い、施設の利用促進に努めていた。</p>
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	<p>日常的な清掃業務等により快適に利用できる施設環境の維持に努めたほか、必要な法定検査の実施等、施設・設備の適切な維持管理に努めていた。また、職員による巡回や監視カメラによる監視を行い、駐車場における防犯対策等に努めていた。</p>
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	<p>施設内の定期的な巡回、危機管理マニュアルに基づいた避難訓練の実施等、安全・安心な利用に資する体制作りに努めていた。</p>
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	3	3	<p>サービス低下とまらない範囲で経費節減に取り組みつつ、適正な指定管理料の執行に努めていた。また、使用料の徴収についても適切に処理されていた。</p>
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか	3	3	<p>感染症対策を徹底しながら、イベントや講座の開催の有無、貸室業務など適宜対応し、利用者サービスの向上や学習活動支援への取組が行われ、目標達成のための努力が行われていたと認められる。</p>

⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	関係法令の遵守、個人情報の保護等、適切に管理運営が行われている。
総合評価	3	3	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を含め、施設の維持管理を適切に行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響下にあっても、対策や事業内容の見直し等を行った上で、できる限り事業を実施し、積極的な広報活動も実施するなど、県民サービス向上のための各種取組により、生涯学習の振興に努めており、総合的に、青森県総合社会教育センターの設置目的に則った適切な管理運営が行われていると評価する。

○評価基準

- 5（秀）：業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている
- 4（優）：業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている
- 3（良）：業務水準書等の内容が満たされている
- 2（可）：業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する
- 1（不可）：業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する